



第9回 メディア委員会資料

2019年2月13日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

1. 2018年の主な活動報告について
2. 東京2020参画プログラムの現状について
3. アクション&レガシーファイナルレポートについて
4. 復興に関する取組みについて
5. 小・中学生ポスター募集企画の概要と表彰について

東京2020大会の概要

競技日程

オリンピック(17日間)

7月24日
~8月9日

パラリンピック(13日間)

8月25日
~9月6日

選手数

オリンピック

11,090人

パラリンピック

4,400人

競技数・種目数

オリンピック

33競技 339種目

パラリンピック

22競技 540種目

会場

全数

43会場

うち

都外

18会場



職員数

現在(2018年12月時点)

2.0千人

大会時(予定)

8.0千人

ボランティア

11万人以上

〈内訳〉

大会ボランティア8万人

都市ボランティア3万人以上

2018年の主な活動報告事項

1. 競技会場及び競技スケジュールについて
2. 開会式・閉会式について
3. 聖火リレー・聖火台について
4. 東京2020大会マスコット決定
5. ボランティアについて
6. 大会チケットについて
7. 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」
8. 機運醸成に向けた主な取組み
9. 大会予算V3

1-1) 競技会場

- ・ 競技は東京1964大会のレガシーを引き継ぐ**ヘリテッジゾーン**、都市の未来を象徴する**ベイゾーン**のほか、地方会場で実施。
- ・ 2018年5月までに新たに競技会場が決定され、最終的にオリンピックは42会場（33競技）、パラリンピックは21会場（22競技）で確定。
- ・ 青海、お台場、有明地区において、祝祭空間を創出するアーバンクラスター構想が進展。
- ・ 晴海に選手団が宿泊する選手村を建設。宿泊施設以外にもオフィシャルストア・ヘアサロン・雑貨店、総合診療所、スポーツジム、ダイニングホール等を整備。

<競技会場例>

福島あづま球場（野球・ソフトボール）



有明BMXコース完成予想図（自転車競技・スケートボード）



会場詳細は、東京2020組織委HPを参照
<https://tokyo2020.org/jp/games/venue/>



1-2) 競技スケジュール(オリンピック)

競技スケジュールの策定

- ・ オリンピック各競技のセッションスケジュールを公表(2018年7月、9月、12月)。
- ・ スケジュールの詳細(種目ごとの日程など)を現在策定中。

主な競技スケジュール



○競泳
7月25日(土)~8月2日(日)



○体操競技
7月25日(土)~7月30日(木)
8月2日(日)~8月4日(火)



○ラグビー
7月27日(月)~8月1日(土)

- ・ 19日間に及ぶ、史上最多33競技339種目を42の競技会場で実施。
- ・ 日本各地で競技が行われ、より多くの方々に大会の熱気を感じて頂く。

1-3) 競技スケジュール (パラリンピック)

競技スケジュールの策定

史上最多4,400名※の世界のパラリンピアンによる、12日間の戦いのセッションスケジュールが決定(2018年10月)。

主な競技スケジュール



○車いすテニス
8月28日(金)～9月5日(土)



○ウィルチェアーラグビー
8月26日(水)～8月30日(日)



○ゴールボール
8月26日(水)～9月4日(金)

- ・ 8月25日の開会式翌日から9月6日の閉幕まで、12日間にわたり22競技540種目が21会場で実施。
- ・ 大会全体を通じて盛り上がりが続くよう、人気競技がバランスよく配置。

※選手数の上限

2) 開会式・閉会式について

4式典を一体と捉え、統一あるものとするために全体のプラン・ストーリーを作成する。

<4式典のあり方>

【オリンピック開会式】

- ・国内外からの注目度が非常に高い式典であり、世界から集うアスリートや観客を歓待する。
- ・東京2020大会の幕開けの式典として4つの式典の萌芽である。
- ・東京2020大会の担う歴史的意義や社会的意義、招致時のコンセプトに鑑みて4式典を貫くポジティブなメッセージを世界に発信する。

【オリンピック閉会式】

- ・競技を終えたアスリートの健闘を称える。また、アスリートに限らず、人々の心に感動を残した方々も讃えたい。
- ・アスリートだけでなく観客も巻き込み、国を超えた一体感を生み出す。
- ・その熱気と興奮を、続いて開催されるパラリンピックへと引き継ぐ。

【パラリンピック開会式】

- ・東京は二度目の夏季パラリンピックを開催する史上初の都市であり、中でも開会式は世界中の注目を集める機会である。
- ・違いを認め合い、支え合い、活かしあうことで、多様で平等な共生社会を目指すことを世界に伝える。
- ・多様なものを様々にかけ合わせることで、既成概念を超えた新しい可能性を探り、人々の意識を変えるきっかけにする。

【パラリンピック閉会式】

- ・パラリンピックのフィナーレであるとともに、東京2020大会の全体を締めくくるフィナーレでもある。
- ・持続可能な社会に向けて、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく新しい時代のスタートラインとする。
- ・世界の調和と明るい未来への可能性を示し、子どもたちや若い世代への継承の場とする。

<演出企画の実施体制>

氏名	肩書等	制作体制
野村萬斎	狂言師	チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（東京2020大会総合）
山崎貴	映画監督	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（オリンピック担当）
佐々木宏	クリエイティブ・ディレクター	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（パラリンピック担当）

氏名	肩書等	制作体制
川村元気	映画プロデューサー／小説家	クリエイティブ・ディレクター（東京2020総合チームメンバー）
来栖良依	クリエイティブプロデューサー クリエイティブディレクター	
椎名林檎	演出家・音楽家	
菅野薫	クリエイティブディレクター クリエイティブテクノロジスト	
MIKIKO	演出振付家	

3-1) 聖火リレーについて

東京2020オリンピック聖火リレー

コンセプト 「希望の道を、つなごう。 Hope Lights Our Way」

ギリシャ聖火式から日本に聖火が到着するまで

(参考) 東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧

3/12(木)
ギリシャ古代オリンピア市 聖火採火式

3/12(木)~3/19(木)
ギリシャ国内聖火リレー

3/19(木)
ギリシャアテネ市にて聖火引継式

3/20(金)
宮城県の航空自衛隊松島基地に到着

3/20(金)~25(水)
宮城県・岩手県・福島県で「復興の火」として
展示



福島県から日本全国を回る

東京2020オリンピック聖火リレーがスタート!

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)~3/28(土)	⑱ 鹿児島県	4/28(火)~4/29(水)	⑳ 富山県	6/3(水)~6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)~3/30(月)	⑲ 沖縄県	5/2(土)~5/3(日)	㉑ 新潟県	6/5(金)~6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)~4/1(水)	⑳ 熊本県	5/6(水)~5/7(木)	㉒ 山形県	6/7(日)~6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)~4/3(金)	㉑ 長崎県	5/8(金)~5/9(土)	㉓ 秋田県	6/9(火)~6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)~4/5(日)	㉒ 佐賀県	5/10(日)~5/11(月)	㉔ 青森県	6/11(木)~6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)~4/7(火)	㉓ 福岡県	5/12(火)~5/13(水)	㉕ 北海道	6/14(日)~6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)~4/9(木)	㉔ 山口県	5/14(木)~5/15(金)	㉖ 岩手県	6/17(水)~6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)~4/11(土)	㉕ 島根県	5/16(土)~5/17(日)	㉗ 宮城県	6/20(土)~6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)~4/13(月)	㉖ 広島県	5/18(月)~5/19(火)	㉘ 静岡県	6/24(水)~6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)~4/15(水)	㉗ 岡山県	5/20(水)~5/21(木)	㉙ 山梨県	6/27(土)~6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)~4/17(金)	㉘ 鳥取県	5/22(金)~5/23(土)	㉚ 神奈川県	6/29(月)~7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)~4/19(日)	㉙ 兵庫県	5/24(日)~5/25(月)	㉛ 千葉県	7/2(木)~7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)~4/21(火)	㉚ 京都府	5/26(火)~5/27(水)	㉜ 茨城県	7/5(日)~7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)~4/23(木)	㉛ 滋賀県	5/28(木)~5/29(金)	㉝ 埼玉県	7/7(火)~7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)~4/25(土)	㉜ 福井県	5/30(土)~5/31(日)	㉞ 東京都	7/10(金)~7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)~4/27(月)	㉝ 石川県	6/1(月)~6/2(火)		

- 都道府県の実施日数について、開催都市東京都については15日を設定。
- 東日本大震災被災3県(岩手、宮城、福島)、複数種目を実施する4県(埼玉、千葉、神奈川、静岡)については、各県3日を設定。
- 上記都県以外は各道府県2日と設定。(移動日を含め合計121日)

東京2020パラリンピック聖火リレー

コンセプト 「あなたは、きっと、誰かの光だ。 Share Your Light」

- 開催都市東京都、パラリンピック競技開催県(埼玉県、千葉県、静岡県)においてトーチで火をつなぐリレーを実施。
- 4都県を除く43道府県については、採火などを通じてなるべく多くの道府県に参画いただけるように今後調整。

3-2) 聖火台について

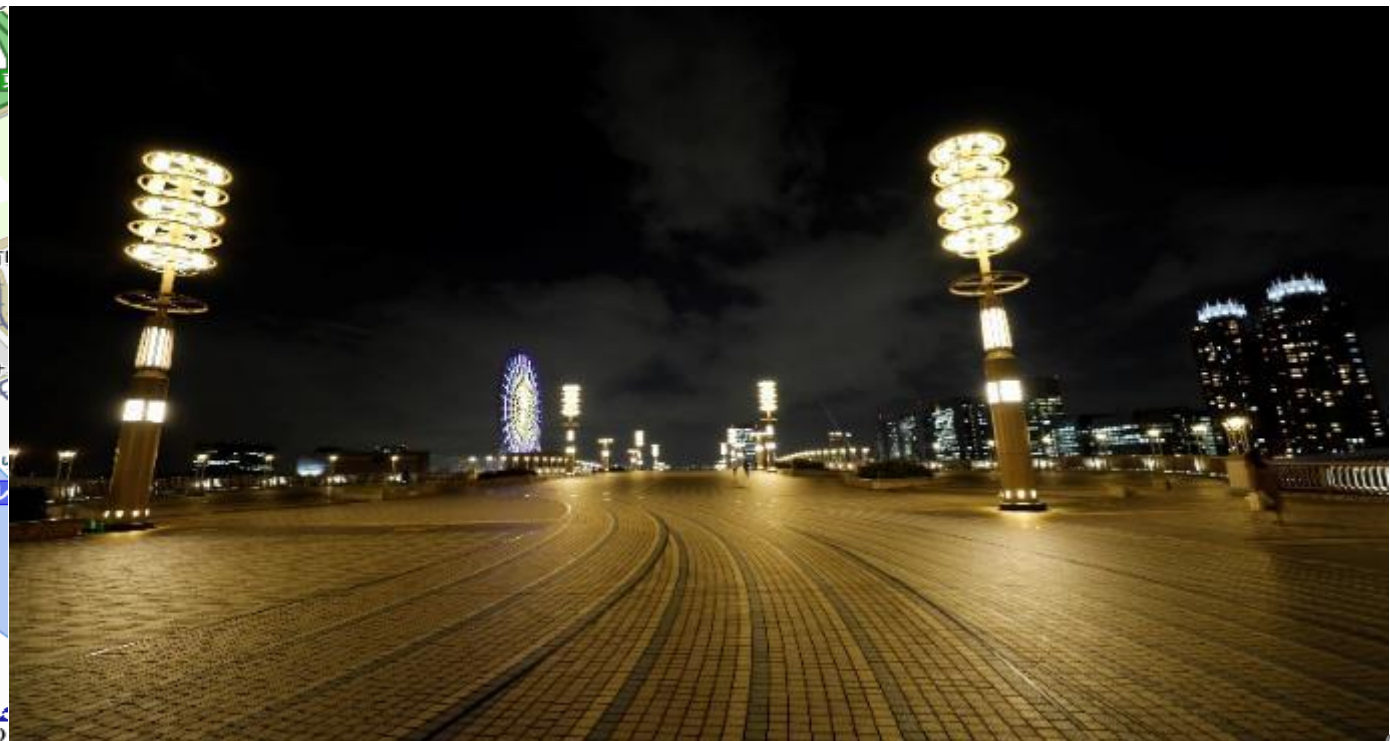
【製作台数】

式典用と競技期間用の2台の聖火台を製作する。

【競技期間中の設置場所について】

東京臨海部夢の大橋有明側を聖火台設置場所候補地としてIOCへ提案。

＜設置場所＞ 東京臨海部 夢の大橋 有明側 (江東区有明3丁目付近)



4-1) 東京2020大会マスコット決定

史上初、大会マスコットを小学生の投票で決定

(小学部を置く特別支援学校や海外の日本人学校、国内の外国人学校、不登校児童が通う施設等を含む)

マスコット決定までの流れ

2017年8/1~14 大会マスコット募集 2,042件応募

12/7 大会マスコット候補 3案発表

12/11~2018年 全国の小学校での、学級単位での投票

2/22

【投票総数】 16,769学校、205,755学級

(全国の小学校の約8割)



4-2) 東京2020大会マスコット決定

- ・2018年7月22日、マスコットの名前が決定し、正式にデビュー。
- ・その後、2年前イベント(7月24日オリンピック、8月25日パラリンピック)や、アスリートと共に実施する競技体験イベントといった様々な場面でマスコットが登場。



伝統と近未来がひとつになった
温故知新なキャラクター。

伝統を大切にしながら、つねに最新情報もキャッチしています。

正義感が強く運動神経バツグンで、どんな場所にも瞬間移動できます。

伝統の市松模様と近未来的な世界観から生まれました。



ミライトワ
MIRAITOWA

○名前の由来

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。

東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ
SOMEITY

○名前の由来

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

桜の触角と超能力を持つクールなキャラクター。

いつもは物静かなのに、いざとなるとパワフル。

強い信念と自然を愛する優しさがあり、石や風と話したり、見るだけで物を動かします。

市松模様と桜を力強く表現して生まれました。

5-1) ボランティアについて

・大会ボランティアは、競技会場や選手村、その他大会関連施設で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を実施。

・応募完了者数204,680人
(大会ボランティアマイページ登録者数262,437人)

- ・男女比:男性36%、女性64%
- ・国籍:日本国籍64%、日本国籍以外36%
- ・11日以上の活動を希望する方が6割を超える
- ・各世代バランスよく応募

項目	大会ボランティア募集要項 (抜粋)
募集人数	80,000人
応募に当たって	2002年4月1日以前に生まれた方 日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方
応募期間	2018年9月26日～12月21日 (視覚に制約のある方等は除く)
活動分野と人数	活動分野、主な活動内容、人数の目安
役割等の決定方法	希望する役割等と実際の役割等のマッチングにより決定。 マッチング不成立の際は、2019年9月頃に通知
活動期間・時間	10日以上を基本、休憩・待機時間を含む1日8時間程度
活動時にお渡しする物品等	ユニフォーム、活動中の飲食、ボランティア活動向けの保険、活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として1,000円/日

※都市ボランティアについては、都及び関係自治体で募集

5-2) ボランティアについて

・ボランティアのネーミング

- ・大会の顔となるボランティアについては、愛称（ネーミング）をつけるのが慣例。
※ロンドン 大会）ゲームズメーカー、都市）ロンドンアンバサダー
- ・東京大会では、参画を促す観点からボランティア応募者による投票を実施。
- ・投票期間：12月12日（水）～1月20日（日）
- ・最終案発表：1月28日（月） フィールド キャスト/シティ キャストに決定
- ・ネーミングは、大会ボランティアを含む大会スタッフ及び都市ボランティアのネーミング。

大会スタッフ・ボランティア ネーミング

都市ボランティア ネーミング

Field Cast

フィールド キャスト

City Cast

シティ キャスト

■競技場などで選手と関わりながら活躍する人、そして、競技場と競技場を結ぶ街でみなさんと関わりながら活躍する人がいます。ボランティアひとりひとりに、大会を盛り上げる重要な役割を担ってほしい。そんな願いをキャスト（配役）という言葉に込めました。

・ボランティアのユニフォーム

「大会スタッフ・都市ボランティアのユニフォームデザイン選考委員会」を設置し、デザイン選考中。

※（最終選考）2019年2月下旬～3月中旬

6) 大会チケットについて

史上最大級のチケットティング・イベント

(プロ野球 1 球団の4~5年分のチケットを約1ヶ月間で取扱うプロジェクト)

- ・2018年7月から東京2020大会公式チケット販売サイトでチケットを購入するための、TOKYO 2020 IDの登録開始
- ・チケット発売は2019年春以降

	開会式	閉会式	競技一般チケット
オリンピック	12,000円~300,000円	12,000円~220,000円	2,500円~130,000円
パラリンピック	8,000円~150,000円	8,000円~90,000円	900円~7,000円

過去大会のチケット規模(概算数)

ロンドン大会 1037億円 / 1080万枚
リオ大会 509億円 / 821万枚

東京大会のチケット規模(招致ベース)

オリンピック 772億円 / 780万枚
パラリンピック 48億円 / 230万枚
合計 820億円 / 1010万枚



※チケット枚数・価格等については変更の可能性あり。

『チケット完売・売上の最大化』と『フルスタジアムの実現』の両立がポイント

7)「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

オリンピック・パラリンピック史上初の取り組み！リサイクル率100%を目指す！

使用済み携帯電話等の小型家電から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施。このプロジェクトを通じて、金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作予定。

【メダル製造に必要な金属の確保状況】

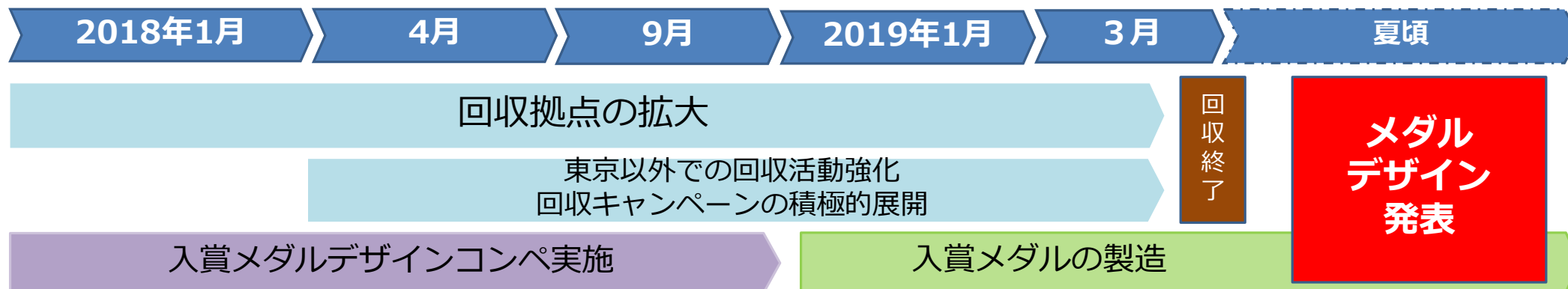


※最終的な納入量に対する納入済み金属量および2018年10月末までの小型家電等の回収量に基づく納入見込み量の合計の割合

※銅については2018年6月までの回収量で100%を達成

- 全体の約9割にあたる1,594の自治体、パートナー企業等が回収に参加
- メダル製造に必要な金属量を確保できる見通しが立ったため、2019年3月31日を持って回収を終了
- 2019年夏頃に予定しているデザイン発表に向けて、メダルデザインコンペティション(421名エントリー)をはじめ、平面デザイン審査や、立体デザイン審査を複数回実施。

【スケジュール(イメージ)】



8-1) 機運醸成に向けた主な取組み

一人でも多くの方が参画し、大会をきっかけにした成果を未来につなげるため、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成。

主なイベント	取組内容
東京2020参画プログラム	様々な組織・団体が東京2020大会の盛り上げ、大会後のレガシー創出を目指し、2020年に向けてオールジャパンで取り組む参加型のプログラムを実施（2016年10月～）。
東京Nipponフェスティバル	世界から注目が集まる時期に東京2020大会公式文化プログラムとして、我が国の誇る文化を国内外に強く発信（2020年4月頃～）。
開幕まであと2年！ 2 Years to Go！	カウントダウンセレモニーを行い、開催まで2年の節目を祝い一体感を強化（2018年7月・8月）。
東京五輪音頭-2020-	1963年に三波春夫さんをはじめ多くの方々に歌い継がれてきた東京五輪音頭を現代版にリメイク。夏祭りの会場から盛り上げ（2017年7月～）。
フラッグツアー	東京の市区町村を巡ったフラッグと共に、日本全国にオリンピック・パラリンピックの価値を伝達（2016年10月～）。

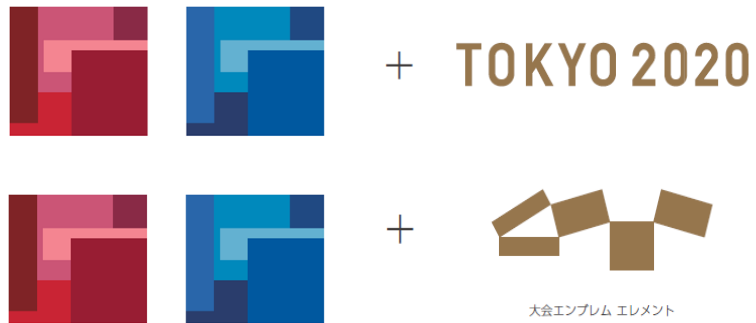


8-2) 機運醸成に向けた主な取組み

コアグラフィックスの決定

コアグラフィックスは、会場装飾、都市装飾以外にも、競技備品やチケット等広く展開され、大会を印象付けるデザインとなります。今後、コアグラフィックスを展開させたデザインの装飾等は、2019年春頃実装を行う予定です。

Tokyo2020コアグラフィックス



Tokyo2020横型装飾バナー 展開例



Tokyo2020縦型装飾バナー 展開例



コアグラフィックスのデザインモチーフとして"かさねの色目"を用います。

「かさねの色目」とは、十二単（じゅうにひとえ）に代表される色の組み合わせのひとつで、日本の四季折々の自然の色合いを重ね合わせた、日本の美や美意識を象徴する文化のひとつと言えます。

8-3) 機運醸成に向けた主な取組み

国連とのSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名

11月14日、国際連合と東京2020大会を通じたSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名しました。国際連合とSDGsについて基本合意書を締結するのは、歴代のオリンピック、パラリンピック組織委員会として初めてのこととなります。



8-4) 機運醸成に向けた主な取り組み

東京2020オリンピック公式映画の監督に河瀬直美さんが就任

河瀬 直美 1969年 奈良県生まれ

(主な作品)

「萌の朱雀」 **カンヌ映画祭カメラドール(新人監督賞)**

「火垂」 **ロカルノ国際映画祭国際批評家連盟賞
ヨーロッパ国際芸術映画連盟賞**

「殞の森」 **カンヌ映画祭グランプリ (審査員特別大賞)**

「あん」 **バリャドリッド国際映画祭最優秀監督賞
バレッタ映画祭最優秀作品賞**

「光」 **カンヌ国際映画祭エキュメニカル賞**



9) 大会経費V3

- 大会経費V3を発表。(2018.12.21)(V2と同額)
- 東京都と国が負担するその他の経費も、V2に引き続き7,500億円となっており、組織委員会とその他の経費を合わせた大会経費V3の総額は1兆3,500億円で、V2と同額。

【参考】経費分担試算(V3予算)

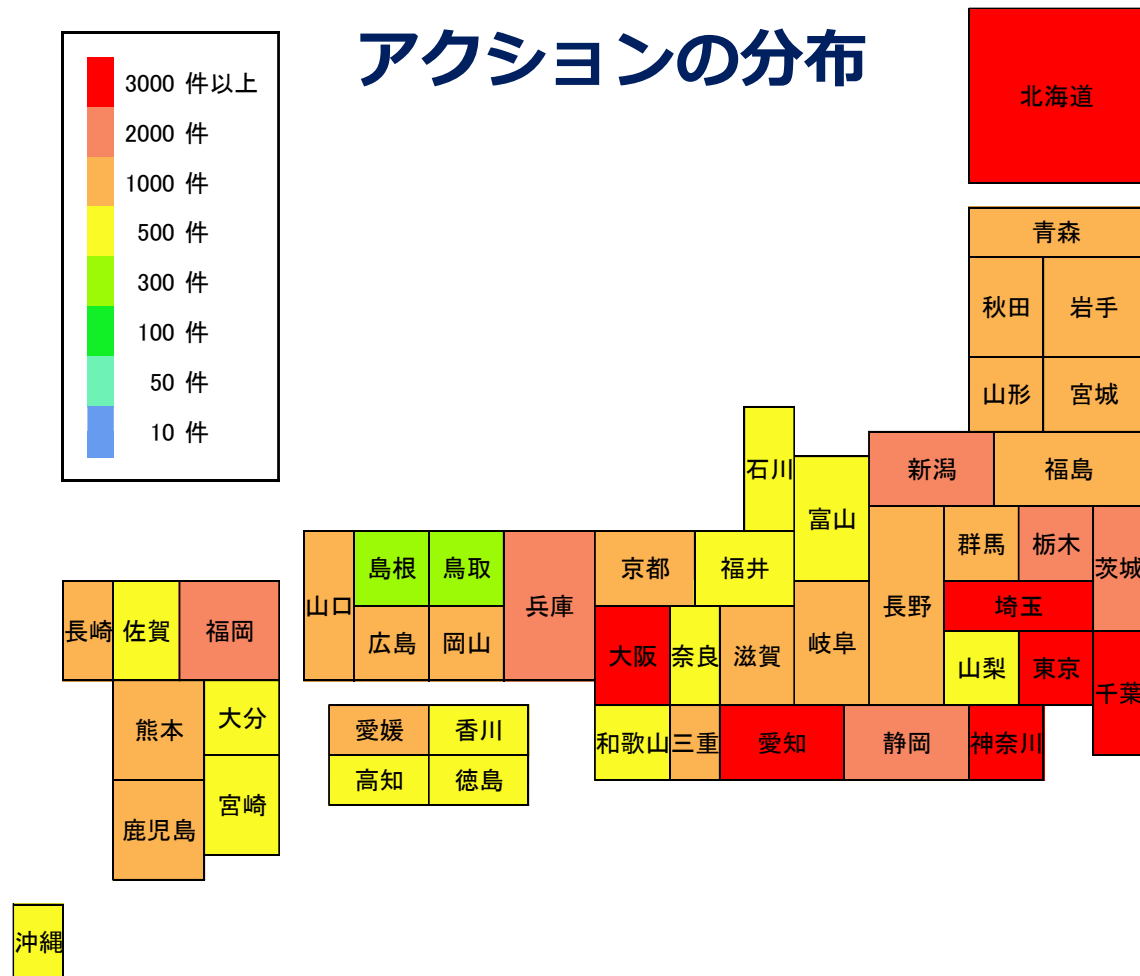
項目	組織委員会	東京都	国	合計
恒久施設	—	2,250億円	1,200億円	3,450億円
仮設等	950億円	2,100億円		
エネルギーインフラ	150億円	250億円	200億円	4,650億円
テクノロジー	700億円	300億円		
会場関係小計	1,800億円	4,900億円	1,400億円	8,100億円
	(400億円)	(200億円)	(200億円)	(800億円)
輸送	350億円	250億円		
セキュリティ	200億円	750億円		
オペレーション	1,050億円	100億円	100億円	5,400億円
管理・広報	650億円	0億円		
マーケティング	1,250億円	0億円		
その他	700億円	0億円		
大会関係小計	4,200億円	1,100億円	100億円	5,400億円
	(200億円)	(100億円)	(100億円)	(400億円)
計	6,000億円	6,000億円	1,500億円	13,500億円
	(600億円)	(300億円)	(300億円)	(1,200億円)

(注1) このほかに予備費1,000億円~3,000億円があります。これにより、予期せずに発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処します。

(注2) () は、うちパラリンピック経費分です。

2. 参画プログラム ①オールジャパンでの参画状況

- 2019年1月時点で、**約91,000件** のアクションを認証
- 全国へと広がる認証アクションへの参加人数は、**約6,000万人!!**



2. 参画プログラム ②アクション事例

オール
ジャパン・
世界への
発信

東京2020大会に向けたボランティアシンポジウム

○内 容

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、大会の「顔」となるボランティアについて役割等を市民に周知。
- ・地域でボランティアとして活躍する方法について考える機会を提供。
- ・オリンピック・パラリンピックの啓発を目的としたPR展示等を実施し、さらなる機運醸成を企図。

【主催者報告】

- ・オリンピック・パラリンピックPRブースを出展したことで、大勢の来場者に都市ボランティア及び大会ボランティアの紹介ができた。
- ・2020年、ボランティアで参加することの価値や楽しさ、レガシーについて、講義やパネルディスカッションをとおして、多くの方々と考えることができた。
- ・オリンピックを通じたボランティア参加気運の醸成に貢献した。

実施事例

オリンピック・パラリンピックPRブースin2018 えどがわボランティアフェスティバル

実施日：2018年7月8日（日）
主 催：江戸川区

東京2020に向けたボランティアシンポジウム

実施日：2018年7月16日（月・祝）
主 催：千葉県
共 催：千葉市、一宮町、成田市、浦安市

東京2020オリンピック・パラリンピック競技 大会に向けたボランティア説明会

実施日：2018年7月29日（日）～8月26日（日）
主 催：宮城県



2. 参画プログラム ②アクション事例

オール
ジャパン・
世界への
発信

ホストタウン事業と連携したアクション

○内 容

- ・ホストタウンに登録されたことを契機として、ホストタウンアクションを実施。
- ・ホストタウン相手国の歴史や文化を学ぶ機会を提供。
- ・アクションの開催を通じ、地域住民のみでなくオールジャパンで東京2020大会へ向けた機運醸成を企図。

【主催者報告】

- ・オリンピックとの交流やホストタウン相手国の紹介を実施し、大会参加者、応援者が多数集まり、東京2020大会へ向けた大きなPRイベントとなった。
- ・スポーツという新たな切り口における人的交流の拡充を契機とし、広く民間レベルまで、より奥行きのある交流がなされるものと期待を持つことができた。
- ・相手国大使と地域市民との交流により、ホストタウン事業への理解が深まり、地域の魅力の国内外への発信にも繋がった。

実施事例

“奥出雲町から世界へ”

実施日：2018年8月18日（土）
主 催：奥出雲町2020東京オリンピック
国内キャンプ招致委員会

ベトナム文化を知ろう！触れて味よう！

実施日：2018年8月11日（土）
主 催：釧路市教育委員会

駐日スロバキア大使による講演会

実施日：2018年5月8日（火）～5月14日（月）
主 催：岐阜市



2. 参画プログラム ②アクション事例

復興 未来（あした）への道1000km縦断リレー2018

- 実施日：2018年7月24日（火）～8月7日（火） 全15日間
- 主催：東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
- 共催：公益財団法人東京都体育協会、公益財団法人東京陸上競技協会
- 協力：コース沿道自治体（79市区町村）
- 後援：青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県 ほか
- 内容：青森県⇒岩手県⇒宮城県⇒福島県⇒茨城県⇒千葉県⇒東京都の
全長約1,300kmをランニングと自転車により、リレー形式でつなぐ。
- 参加者：1,540人

【主催者報告】

東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、全国から集まる参加者と被災地の方々の絆を深めるために実施。

イベント中、海外メディアの参加を募り、福島県のJヴィレッジ等をめぐる海外プレスツアーを実施し、被災地の現状について国外へも積極的な発信を行い、グランドゴール会場では東北被災3県のみならず熊本県等からも出展を募りイベント参加者へ復興のメッセージ発信を行った。



2. 参画プログラム ②アクション事例

復興

岩手宮城被災地スタディーツアー

- 実施日：2018年3月1日（木）～3月4日（日）
- 主催：法政大学ボランティアセンター
- 内容：**釜石市内視察、三陸鉄道運行の震災学習列車への乗車、
宮古市内視察、陸前高田市内視察** 等
- 参加者：29人

【主催者報告】

スタディーツアーという形態で参加へのハードルを下げ、まだ被災地を訪れたことがない学生が足を運ぶことを目的に実施。被災地の理解が深まった。



3. アクション&レガシー ファイナルレポート

概要

組織委員会は、2016年7月に「アクション&レガシープラン2016」を策定、以後毎年更新。
2020年向けに、このプランで定めたレガシーコンセプトに基づいた各種アクションを実施。
アクションの成果やレガシーについて、大会後に「ファイナルレポート」として取りまとめる。

スケジュール

2018年度	2019年度				2020年度		
第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	大会後
専門委員会		アクション&レガシー プラン2019		専門委員会		東京2020大会	専門委員会(仮) アクション&レガシー ファイナルレポート

3. アクション&レガシー ファイナルレポート

全体構成

- ✓ はじめに
会長・総長の挨拶等
- ✓ エグゼクティブサマリー
第二章～第六章のサマリー（主な実績を網羅）
- ✓ 第一章 アクション&レガシーレポートについて
目的等
- ✓ 第二章 スポーツ・健康
- ✓ 第三章 街づくり・持続可能性
- ✓ 第四章 文化・教育
- ✓ 第五章 経済・テクノロジー
- ✓ 第六章 復興・オールジャパン・世界への発信
- ✓ 第七章 東京2020参画プログラム
- ✓ 第八章 東京2020 NIPPONフェスティバルの概要

※参画プログラム一覧は、ホームページへの掲載をもって
かえる

第二章～第六章について

構成案は以下のとおり

- 基本的な考え方（導入）
- レガシーコンセプト
- アクション（主な実績、目玉プロジェクト含む）
- 成果
- 結び／委員長コラム

4.復興に関する取組み

(1) オリンピック聖火について

オリンピック聖火到着式

ギリシャで採火されたオリンピック聖火は、2020年3月20日に、宮城県の航空自衛隊松島基地に到着し、到着式を実施



「復興の火」の展示

東京2020オリンピック聖火リレーの開催に先立ち、ギリシャで採火した火を「復興の火」として、被災3県（岩手、宮城、福島）で順次展示

オリンピック聖火リレー

オリンピック聖火リレーの出発地を福島県とし、岩手県、宮城県、福島県において、オリンピック聖火リレーを3日ずつ実施



4.復興に関する取組み

(1) オリンピック聖火について

(参考) 東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧 (再掲)

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)～3/28(土)	①⑦ 鹿児島県	4/28(火)～4/29(水)	③③ 富山県	6/3(水)～6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)～3/30(月)	①⑧ 沖縄県	5/2(土)～5/3(日)	③④ 新潟県	6/5(金)～6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)～4/1(水)	①⑨ 熊本県	5/6(水)～5/7(木)	③⑤ 山形県	6/7(日)～6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)～4/3(金)	②⑩ 長崎県	5/8(金)～5/9(土)	③⑥ 秋田県	6/9(火)～6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)～4/5(日)	②⑪ 佐賀県	5/10(日)～5/11(月)	③⑦ 青森県	6/11(木)～6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)～4/7(火)	②⑫ 福岡県	5/12(火)～5/13(水)	③⑧ 北海道	6/14(日)～6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)～4/9(木)	②⑬ 山口県	5/14(木)～5/15(金)	③⑨ 岩手県	6/17(水)～6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)～4/11(土)	②⑭ 島根県	5/16(土)～5/17(日)	④⑩ 宮城県	6/20(土)～6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)～4/13(月)	②⑮ 広島県	5/18(月)～5/19(火)	④⑪ 静岡県	6/24(水)～6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)～4/15(水)	②⑯ 岡山県	5/20(水)～5/21(木)	④⑫ 山梨県	6/27(土)～6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)～4/17(金)	②⑰ 鳥取県	5/22(金)～5/23(土)	④⑬ 神奈川県	6/29(月)～7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)～4/19(日)	②⑱ 兵庫県	5/24(日)～5/25(月)	④⑭ 千葉県	7/2(木)～7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)～4/21(火)	②⑲ 京都府	5/26(火)～5/27(水)	④⑮ 茨城県	7/5(日)～7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)～4/23(木)	③⑰ 滋賀県	5/28(木)～5/29(金)	④⑯ 埼玉県	7/7(火)～7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)～4/25(土)	③⑱ 福井県	5/30(土)～5/31(日)	④⑰ 東京都	7/10(金)～7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)～4/27(月)	③⑲ 石川県	6/1(月)～6/2(火)		

4.復興に関する取組み

(2) 福島県営あづま球場等の視察

2018年11月24日、トーマス・バッハ国際オリンピック委員会（IOC）会長と安倍晋三内閣総理大臣が、東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技の会場になっている福島県営あづま球場などを視察、県内の方々と交流

- あづま総合運動公園内にあるあづま総合体育館で、バドミントンの福島県高等学校新人体育大会を選手たちと観戦
- 福島県の高校球児や、福島県野球団体協議会、福島県ソフトボール協会の方々と交流
- あづま総合運動公園内にあるあづま球場で、県内で野球やソフトボールを行っている子どもたちから歓迎セレモニーで花束を贈呈された



4. 復興に関する取組み

(3) 被災地での東京2020理事会の開催

2018年7月30日、福島県内の「ナショナルトレーニングセンター」ヴィレッジ」にて、組織委員会の理事会を開催

被災地と連携した組織委員会の取組を報告するとともに、理事会に先立ち、被災地復興の取組について、復興大臣、福島県知事、岩手県副知事、宮城県副知事との意見交換会を実施



4. 復興に関する取組み

(4) 復興のモニュメント（仮称）について

コンセプト

「感謝・応援～支援へのありがとうや選手へ頑張りを伝えたい～」
(被災地⇒世界)

「感謝・感動～応援への感謝やスポーツのもつ力を被災地に届ける～」
(世界⇒被災地)

概要

- ・ 上記コンセプトを示すモニュメントを制作
- ・ 被災地の中高生が、世界中から集まるアスリートに向けて、応援のメッセージや震災の支援への感謝を表す
- ・ 大会中、モニュメントを大会の関連施設に設置する
- ・ 大会後は、レガシーとして被災三県に移設することを打診中

4.復興に関する取り組み

(5) 被災地の食と文化を発信

2018年9月4日から7日まで、国内外メディアに対し、東京2020大会の準備状況などの意見交換を行う第1回ワールド・プレス・ブリーフィングを実施

4日には、復興庁の協力のもと、東京都との共催で夕食会を開催

夕食会では、被災3県の食材を使った料理を振る舞い、被災地の食の魅力を発信



4. 復興に関する取組み

(6) 被災地メディアツアー実施報告

日時 2018年9月8日（土）から9月9日（日）

場所 宮城県、福島県

主催 東京都

目的 平成 30 年 9 月 4 日から 7 日まで東京2020組織委員会が実施するワールドプレスブリーフィングに参加するため、海外メディアの多数の記者が来日
この機会を活用し、海外メディアを対象に、スポーツの力を通じて元気を取り戻しつつある被災地（宮城県、福島県）の姿や現地でしか伝わらない被災地の復興の様子を世界の多くの方々に発信していただくことを目的とし、メディアツアーを企画・実施

参加者 海外メディア24名（20社）

参加者の国籍は、アメリカ、フランス、ドイツ、イタリア、英国、ナイジェリア、インド、モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、ベトナム、スリランカ

4.復興に関する取組み

(6) 被災地メディアツアー実施報告 行程表

日付	スケジュール
9月8日 (土)	宮城スタジアム === 東松島市立宮野森小学校 == = 女川町シーパルピア女川 === (途中休憩 1 回) === 郡山市内ホテル
9月9日 (日)	郡山市内ホテル === (途中 1 回休憩) === 昭和村立昭和小学校 【会津若松視察組】 = 田季野 (昼食) === 末廣酒造 (視察) === 鶴ヶ城 (自由視察) = == (途中休憩2回) === 東京駅 並びに 成田空港 【直行組】 = (途中休憩2回) === 東京駅 並びに 成田空港

4.復興に関する取り組み

(6) 被災地メディアツアー実施報告【宮城県】

宮城スタジアム視察

東北最大級を誇るスタジアムは、震災時には、施設屋根が損壊しつつも、国内外の救援部隊の応急対応拠点として使用。

会場には、熊谷大利府町長も出席し、東京2020大会でサッカーの競技会場になることや、震災時の様子などを海外記者に説明。



女川町

女川町は、東日本大震災で最大規模の被害を受けたが、2015年3月にはJR石巻線全線再開とともに新しい女川駅が完成、商業施設もオープン

シーパルピア女川交流館において、組織委員会主催の2017年ポスター募集企画で金賞を受賞した女川小学校6年生の鈴木御代（みだい）さんが登壇し、パラリンピックをテーマにしたポスターについて、障がいは個性であり、隠す必要はなく、目立つよう障がいのある部分を金メダルの金にした、と説明



東松島市立宮野森小学校

宮野森小学校は「森の学校」をコンセプトに、2016年宮城県初の木造小学校として建設

ツアー参加者は、日本スポーツ協会、JOC等が主催する特別授業「スポーツ笑顔の教室」を見学



4.復興に関する取り組み

(6) 被災地メディアツアー実施報告【福島県】

昭和村立昭和小学校

昭和村は、沿岸から遠く山の中に位置する昭和村では、地震や津波などによる直接的な被害はほとんどなかったが、放射能の「風評被害」により、主力の観光客は激減し、農産物の販売も減るなど地域経済は大きな影響を受けている

ツアー参加者は、JOC主催の「オリンピックデー・フェスタ」が行われていた昭和小学校を訪問。この日は、中村真衣さん（水泳/シドニー2000大会）、杉本美香さん（柔道/ロンドン2012大会）のほか計6名のオリンピックが、約100名の地元住民の方々とスポーツを通じて交流した



会津若松

ツアー最後は、歴史的な名所が集まる会津若松市を訪問
会津地方の伝統的な郷土料理である「わっぱ飯」を味わった後、老舗の酒蔵を訪問し、福島の名産品の一つである日本酒ができるまでの工程を見学

難攻不落の名城と呼ばれた鶴ヶ城で、2日間にわたるツアーは全行程を終了



5. 小・中学生ポスター募集企画の概要と表彰

2018年度小・中学生からのポスター募集企画について

◆目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、学校や子どもたちの大会への関心を高め、もって、大会の機運醸成を図る。

◆募集期間

2018年9月1日～11月2日

◆作品テーマ

「東京2020大会マスコットと○○」

◆募集対象

- ・全国の小学生、中学生、特別支援学校小学部、特別支援学校中学部及び海外日本人学校に在学中の児童・生徒。
- ・原則、小学校は5年生、中学校は2年生を対象とする。

◆募集方法

学校ごと50作品に1作品を代表作品として提出

◆応募状況

応募総数：31,719点 代表作品数：1,980点 学校数：1,351校

(参考) 2017年度応募状況

応募総数：14,396点 代表作品数：645点 学校数：404校

5. 小・中学生ポスター募集企画の概要と表彰

選考の流れ



- A 小学校 応募作品より 金賞・銀賞・銅賞各1点、優秀作品5点（計8点）
B 中学校 応募作品より 金賞・銀賞・銅賞各1点、優秀作品5点（計8点）
C 特別支援学校小学部 応募作品より 金賞・銀賞・銅賞各1点、優秀作品5点（計8点）
D 特別支援学校中学部 応募作品より 金賞・銀賞・銅賞各1点、優秀作品5点（計8点）
※優秀作品（20点）のうち、1点を谷口賞（マスコット作成者の谷口氏により選出）として選定。

5. 小・中学生ポスター募集企画の概要と表彰

表彰式

(1) 日程

2019年3月29日（金）

(2) 開催場所

パナソニックセンター東京（東京都江東区有明）

(3) 参加予定者

金・銀・銅・谷口賞 受賞者（計13名）、森会長、日枝委員長、津賀パナソニック代表取締役社長、谷口亮氏、アスリート委員等

(4) その他

- ・ 入選作品については、パナソニックセンター東京にて掲出予定
- ・ パートナー企業提供の賞品及びマスコット等のライセンシンググッズを副賞として授与



2017年度表彰式の様子



パナソニックセンター東京での掲出の様子

5. 小・中学生ポスター募集企画の概要と表彰

作品の活用について

小・中学生の作品については以下の活用を想定

(1) 組織委員会での活用

- ①組織委員会ホームページへの掲出
- ②各種イベントでの掲示
- ③組織委員会内での掲示

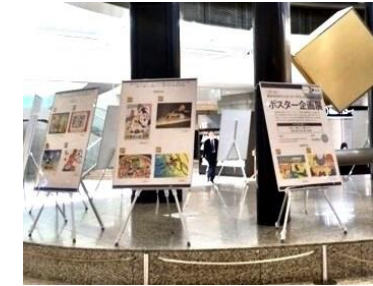
(2) 自治体、パートナー等での活用

- ①自治体主催イベントでの掲示
- ②自治体広報等での活用
- ③パートナー関連施設での展示

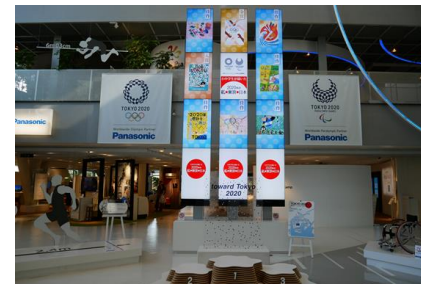
組織委員会内の展示（8階）



東京都での展示



パートナー企業での活用



各種イベントでの掲示



5. 小・中学生ポスター募集企画の概要

2019年度の募集について

テーマ案
「世界の選手を応援しよう！」



大会の関連施設で掲示する等の活用を検討

◆募集方法

- ・都道府県教育委員会を通じて各区市町村教育委員会等に依頼、各学校から児童・生徒宛に周知

加えて、

- ・国及び東京都の事業との連携に向け調整中
- ・認知度の低い国・地域を選択してもらえる仕組み作り 等

レガシー・レポーティング・フレームワークについて

2018年2月21日にIOCがレガシー・レポーティング・フレームワークへの取組について、以下の公表をしたことを受け、東京2020大会においてもIOCの方針に基づき、実施予定。

➤ これまでのOGI調査から、大会開催によるレガシーを把握するための新たな取組(レガシー・レポーティング・フレームワーク)及び従来からの取組である持続可能性に関する報告書へ移行すること。

・OGI調査(Olympic Games Impact Study)とは、オリンピック競技大会の開催が、開催都市や地域の環境・社会文化・経済に与える有形・無形の影響に関する調査のこと。

・レガシー・レポーティング・フレームワークとは、大会が開催都市に及ぼすメリットを把握することを目的とした枠組みのこと。

【基本方針】

レガシーフレームワークは、「大会が開催都市に及ぼすメリットの把握」を目的としているため、開催都市である東京都のレガシー創出に向けた取組から項目を抽出し、東京都と連携を図りながら、レガシーフレームワークを策定する。



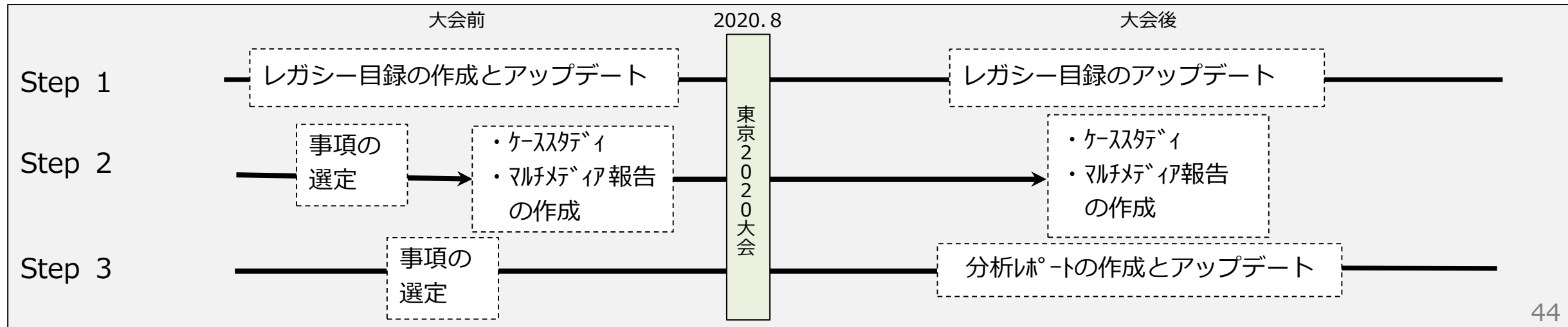
大会開催の短期的な効果、長期的な影響を把握し、大会のレガシーとして発信

おわりに

IOCが提示する概要

- 【Step 1】 ● レガシー目録の作成 –レガシーに関連する取組を記載–
- 【Step 2】 ● ケーススタディの実施、マルチメディアの活用
–Step 1のうち重要と思われる取組事項を抽出し、詳しく説明–
- 【Step 3】 ● 分析レポートの作成 –更に事項を絞り、変化の要因、大会との因果関係について詳細に分析–

スケジュール（※詳細は調整中）



みんなの輝き、つなげていこう。

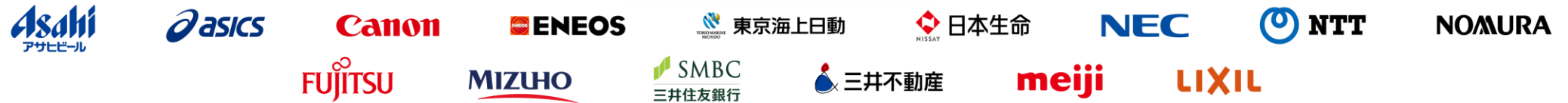
Unity in Diversity



The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



The Worldwide Paralympic Partners



Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners





Road to Tokyo 2020 ～～みんなで作る2020～～



	(2018年12月時点)	2018年度			2019年度			2020年度	
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
主な行事		調整委員会(年2回開催予定) [3/12] オリ500日前	[7/24] オリ1年前 [4/13] パラ500日前	[9/20～11/2] ラグビーワールドカップ [8/25] パラ1年前	[1/10～22予定] 3-スリット杯冬季大会(0-イカ)	[4/15] オリ100日前 [5/17] パラ100日前	▼東京2020大会 オリ: 7/24～8/9 パラ: 8/25～9/6		
◆競技関係	2018年7月にオリンピック、9月にパラリンピックのセッションスケジュールを公表。 2020年春頃に詳細な進行表を決定。	▼オリ【年末頃】 イベントスケジュール決定	▼パラ【春頃】 イベントスケジュール決定	詳細競技計画検討	▼【春頃】 DCAS(競技運営のための詳細な進行表)決定				
◆テストイベント	2018年10月にテストイベントのスケジュール第1弾、11月に第2弾を公表。 2019年6月より順次実施予定。		Wave①	Wave②	Wave③				
◆聖火リレー/入賞メダル	2019年には聖火リレーのルートやランナー等について公表予定。 2019年の大会1年前にメダルデザイン発表予定。	【継続中】 都市狐山からつくる! みんなのメダルプロジェクト	【2019年中】 トーチ・ルート、ランナーについて公表	▼【7月頃】 オリ入賞メダルデザイン発表 ▼【8月頃】 パラ入賞メダルデザイン発表	[3/26～7/24] 聖火リレー(オリ)	[オリ・パラ間] 聖火リレー(パラ)			
◆ボランティア	2018年9月から応募フォームにて募集を開始。 12月19日9時半時点で15万3012人が応募完了。 2019年2月からオリエンテーションを実施し、 2020年3月以降、役割・会場を通知	▼【12月21日17時】 ボランティア応募締め切り	▼【1月】ネーミング発表 【2月～7月】 オリエンテーション	【10月～2月】 共通研修	▼【3月～】 役割・会場の通知				
◆大会サービス(輸送・警備・飲食等)	選手・観客等の輸送ルート(道路・公共交通)及びその運用について精緻化を図る。 安心、安全に加え、円滑な入場を実現するため、大会史上初となる顔認証システム導入予定。	輸送連絡調整会議、交通輸送技術検討会等にて引き続き、輸送ルート等を検討・調整	▼【12月】 警備ガイドライン完成 ▼【1月頃】 各競技会場医療責任者指名	▼【4月頃】 持続可能性報告書V1提出	▼【年末頃】 輸送運営計画V2を策定 ▼【年末頃】 飲食メニュー決定	▼【3月頃】 持続可能性報告書V2提出	▼【春頃】 会場運営計画V2を策定 ▼【大会前】 全自主警備計画の完成 GSCC(大会警備本部)の運用開始	▼【大会期間中】 持続可能性報告書V3提出	
◆チケット	2018年7月よりチケット事前登録キャンペーンを実施中。 2019年春頃よりオリンピック、夏頃よりパラリンピックの一般販売を開始予定。	関係者向けチケット申込受付開始	【春頃から】 一般向けチケット販売						
◆参画推進等	2020年4月から「東京2020 NIPPONフェスティバル」を全国展開予定。 2018年10月東京2020オリンピック公式映画の監督に河瀬直美さんが就任。 大会史上初めて、国際連合とSDGs推進に向けた基本合意書を締結。	▼【11月】 国連とSDGs推進に向けた基本合意書を署名	▼【500日前】 コアグラフィックス展開 ▼【春頃】 大会ルック発表	▼【夏頃】 大会モットー発表	▼【2019年度中】 スペクタキュラー設置	▼【春頃】 シティドレッシング開始 ▼【春頃】 都市ルック開始	▼【大会期間】 ライブサイト	【2020年春頃】 東京2020 NIPPON フェスティバル	
◆競技会場(一般的なスケジュール)	契約締結後、実施設計、仮設オーバーレイ工事を実施。	実施設計	競技会場・IBC/MPCの仮設オーバーレイ工事	▼オリンピックスタジアム完成					撤収工事
◆選手村	2018年12月に、飲食事業者が決定。 「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」を実施中。	▼【12月】 飲食事業者が決定	▼【春頃】 選手村運営計画決定	宿泊棟内装や仮設施設的设计・工事					【大会期間 7月～9月】 選手村開村、閉村 選手村改修工事

※背景の絵は 参加型企画にて 2016金賞受賞 福岡県立築城特別支援学校 吉田 空咲さんの作品